

垂水市記者発表（令和4年4月22日）

自治体と医療機関との連携は県内初！

垂水市と公益財団法人慈愛会との 包括連携協定 締結式を執り行います

日頃より、本市行政に多大なるご支援を賜り厚く感謝申し上げます。さて、標記の件につきまして、下記のとおり執り行いますので、ぜひ、取材方をお願いいたします。

■資料 本紙を含む3枚

■日時

令和4年5月10日（火）午後3時から

■場所

公益財団法人慈愛会 今村総合病院 A棟4階 大会議室
（鹿児島市鴨池新町11-23） TEL（099）251-2221

■締結式出席予定者概要

垂水市 尾脇 雅弥市長（署名人）

益山 純徳副市長

公益財団法人慈愛会 今村 英仁理事長（署名人）

帆北 修一今村総合病院院長

鹿児島大学 小林 裕明教授（立会人）

今回の包括連携にあたり、鹿児島県の産科婦人科医療の中心を担っておられる同教授に多くのご助言をいただき、ここまでご尽力していただきましたことから見届け人として立会っていただきます。

鹿児島大学 大石 充教授（立会人）

少子高齢化が進む本市において、「健康長寿・子育て支援」をテーマとしたモデルケース構築の事業計画に向けて、専門的見地からの助言を行う本市スーパーバイザーに就任しておられる同教授に締結式の見届け人として立会っていただきます。

■ 概 要

本市の「元気な垂水づくり～子育てを支援するまち～」実現と公益財団法人慈愛会の社会貢献活動・地域医療に寄与するため、本市と慈愛会が相互に連携・協力し、市民の産前・産後、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を行うことで、安心して子育てができるための環境の充実を図ることを目的に包括連携協定を結び、慈愛会の産科医・助産師等の人材資源を活用して下記の連携事項に取り組むこととなりました。

特に、連携事項の「垂水市における産科医療導入に関する検討に関すること」については、産科医療提供体制のない本市において、今後導入に向けて協議検討を進めてまいります。

具体的には、県内初の取組として総合病院が産科医療提供体制のない自治体で、婦人科診察、産前・妊娠期・産後の産科診察やケアを行うという、これからの地域医療として新しいモデルケースの実現を目指します。

■ 連携事項（すべて県内初）

- ・垂水市における産科医療導入に関する検討に関すること
- ・産前産後ケアに関すること
- ・新生児訪問に関すること
- ・子ども、子育て支援に関すること
- ・医療、健康に関すること
- ・思春期保健に関すること

■ 締結式出席予定者

垂水市

市 長

尾脇 雅弥【署名人】

副市長

益山 純徳

公益財団法人 慈愛会

理事長

今村 英仁 様【署名人】

今村総合病院 院長

帆北 修一 様

【立会人】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

生殖病態生理学（産科婦人科学教室） 教授

婦人科がん先端医療学講座 教授

鹿児島大学病院副病院長、女性医療センター長、

周産母子センター長、遺伝カウンセリング室長、

地域医療連携センター長

小林 裕明 様

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
心臓血管・高血圧内科学分野 教授
鹿児島大学病院 心血管病低侵襲治療センター長
垂水市スーパーバイザー

大石 充 様

■ 問い合わせ先

【協定式に関すること】

垂水市企画政策課政策推進係

電話 0994-32-1143（直通） 担当：市木

【包括連携に関すること】

垂水市保健課健康増進・元気プロジェクト係

電話 0994-32-1116（直通） 担当：庭田

■ 報道機関の皆様へ

会場が医療機関であることから、感染対策として下記の制限を設けさせていただきます。

- ・ 入場できるのは、カメラマンも含め、1社につき2名までとさせていただきます。
- ・ 上記2名の方につきましては、3回目のワクチン接種を受けた方、又は前日（5月9日付け）のPCR検査の陰性証明書をお持ちの方とさせていただきます。

※ 当日、受付にてワクチン接種証明書又は陰性証明書のご提示をお願いいたします。

県内において新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は増加傾向に転じつつあり、第7波の兆候が見え始めていることが懸念されている状況でございます。ご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

※ 掲載している情報は、発表日時点のものです。最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ 取材希望の場合は、締結式前日までに一報いただくと幸いです。